

北海道浮魚ニュース

平成 30(2018)年度 18 号

2018 年 9 月 10 日

道総研 釧路水産試験場

ホームページ：<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

平成 30 年度 第 1 回サンマ中短期漁況予報発表される

9 月 10 日に平成 30 年度 第 1 回サンマ中短期漁況予報が漁業情報サービスセンターにより発表されました。中短期予報は、下記のサイトに以下の日程で公表されますので御覧下さい（北海道浮魚ニュースでは、本号にて「第 1 回の概要」と「公表スケジュール」の案内のみを行います）。第 2 回：9 月 19 日、第 3 回：9 月 28 日、第 4 回：10 月 9 日、第 5 回：10 月 19 日、第 6 回：10 月 29 日、第 7 回：11 月 9 日、第 8 回：11 月 29 日、第 9 回：11 月 29 日（日程は目安で、第 9 回は終漁時期により発表されない場合があります）。

一般社団法人漁業情報サービスセンターURL：<http://www.jafic.or.jp/gyokaikyo/>

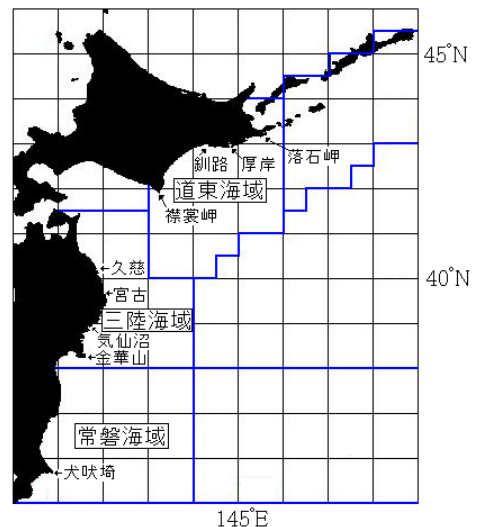
今後の見通し（2018 年 9 月中旬～10 月下旬）

予測期間：2018 年 9 月中旬から 10 月下旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群



●道東海域

- ・来遊量：9 月中旬の来遊量は少なく、来遊は断続的である。9 月下旬～10 月上旬にかけて緩やかに増加するが低位水準である。10 月中旬～下旬は、道東海域よりも南側を南下する魚群もあり、来遊量は減少する。

- ・漁場：9 月中旬は、道東海域には漁場は形成されず、主漁場は道東海域より北東～東側の択捉島南沖～色丹島南沖となる。道東海域では、9 月下旬に落石南沖に漁場が形成される。10 月上旬は厚岸沖まで漁場が広がる。10 月中旬は襟裳岬南沖にも漁場が形成され、10 月中旬～下旬は落石南沖～襟裳岬南沖に漁場が形成される。

●三陸海域

- ・来遊量：10 月中旬は、低位水準ではあるが来遊がある。10 月下旬は、来遊量は増加するものの低位水準である。
- ・漁場：10 月中旬は、三陸北部に漁場ができる可能性がある。10 月下旬は三陸北部が漁場となる。

(釧路水産試験場 調査研究部、TEL:0154-23-6222、FAX:0154-23-6225)